

続 ふるさとこぼれ話

おおき 青木の観腸先生 19

酒井良清物語 学校医 7 養護教諭とともに 4

穂山光子養護教諭
(平成7年から4年間、芳志戸小学校に勤務。現芳賀南小学校勤務)

「酒井先生は年3回、学校保健委員会を開いて、児童の体力向上・健康のために一緒に努力していきましよう」と、全教員と校長に発破をかけておられました。

5・6年生向けの健康講話のとき、自費で子どもたちの人数分のタオルを準備して『わたしが健康なのは毎朝、乾布摩擦をしているからです。皆さんも毎朝、こんなふうにはタオルを使つて、ゴシゴシと乾布摩擦を続けてください』と実演指導をしてくださいました。

健康のために毎日大きな声を出すことも大切なことだと、大きな声を出して得意の詩吟を披露してくださることもありました。

年末の児童生徒の学校保健研究発表会では、各学校の発表を熱心に聞いておられ、的確でかつ児童生徒の研究をたたえる講評をしておられました。

酒井先生の提案で、町内小学校の校長と保健主事、養護教諭

による学校保健研究会が開催されることになりました。校長と保健主事、養護教諭が一体となって学校保健を行うことの重要性が理解され、養護教諭として学校保健活動をスムーズに進めることができるようになりました。

酒井先生の行動力や『やつてできないことはないんだから』という励ましや後押しで、子どもたちの体力向上や健康管理など養護教諭として、もつとがんばらないといけない、もつと勉強しないといけない、自然とそう思うようになっていきました。

芳志戸小学校の経験が、その後の人事異動で他市町の小学校に赴任してからも仕事に役立ちました。

養護教諭として学校医の酒井先生と一緒に仕事ができたくことは、本当に幸せだったと思つています (つづく)



▲穂山光子 養護教諭

自然の芳賀 38



ヒオドシチョウ

チョウ目タテハチョウ科

写真提供＝芳賀町自然に親しむ会 撮影場所：町内

- 分布＝ 北海道～九州
- 生息地＝ 低山地の樹林に多い
- 時期＝ 5～6月に羽化(発生:1回/年)して休眠状態で越冬し、翌春に産卵する。
- 食性＝ エノキ、ヤナギ類
- 大きさ＝ 開張(羽を広げた最大値)70～75mm
- 特徴＝ アカタテハより大きく、表面は前羽・後羽とも鮮やかな朱色で、裏面は地味で毛が密生する。
- 近似種＝ エルタテハ

編集後記 広報はが6月号

□6月、梅雨のシーズンですね。

役場では、今年5月1日からクールビズのノーネクタイ勤務が始まりました。首元が閉まらないと楽な感じになりますね。クールビズの目的は、ノーネクタイなどで体感温度を下げ、冷房使用を控えるのが目的。わかつてはいても庁舎内が暑いと仕事の効率が悪く、今夏は、電力不足の影響もあり、例年以上に暑さに耐えることになるのかも。(Y)



▲ポピー(上稲毛田)

◎編集 芳賀町広報広聴委員会
☎028(677)6032 ✉kouhou@town.haga.tochigi.jp
◎発行 芳賀町企画課
栃木県芳賀郡芳賀町大字祖母井1020番地
◎芳賀町ホームページアドレス
http://www.town.haga.tochigi.jp
芳賀町の携帯サイトはコチラから



この印刷物は、ESPAのゴールド基準に適合した地球環境にやさしい印刷方法で作成されています
ESPA：環境保護印刷推進協議会
http://www.espa.com